



財団だより

105



一般財団法人 横浜総合医学振興財団

理事長 後藤 英司（五〇年卒）

新型コロナウイルス感染症に 関する研究・診療を支援

俱進会の皆様には日頃から格別のご支
援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げま
す。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感
染症が猛威をふるい、最近では変異株も出
現して社会全体に深刻な影響が及びつつ
あります。特に医療現場に大きな負荷が
かかっています。横浜国立大学の附属
二病院をはじめ、各協力病院、診療所等

では感染症の患者さんを積極的に受け入
れて、診療や臨床研究に大いに尽力され
ています。あらためて、心より敬意を表
すとともに感謝申し上げます。
この様な状況ですので、財団では昨年
より新型コロナウイルス感染症の研究や
診療活動を助成しております。
昨年は「新型コロナウイルス感染症研究助成」、
今年は「同感染症診療支援事業」を設け
て、「横浜医療センター」と「横浜市立脳
卒中・神経脊椎センター」の優れた取り
組みを支援させて頂くことになりました。
今後も当感染症が収まるまで、この分
野の学術研究等への助成事業を続けて行

きたいと考えております。どうかご協力
のほどよろしくお願いします。

「がん研究」と
「若手の学術活動」をサポート

新型コロナウイルス感染症が大きな問題となっ
ておりますが、それ以外の疾患、特に日
本の死因の上位を占める悪性新生物（腫
瘍）、心疾患、脳血管疾患等の病態解明に
向けた研究は重点的に推進する必要があります。

今年は「がん研究」を指定したご寄付
を賜りましたので、研究課題を公募して、
がんの医療・研究を専門とされている先
生方に選考を依頼しました。この結果、
横浜市立大学の「脳神経外科」と「がん
ゲノム診断科」の研究に助成することに
なりました。ぜひ、今後の発展に繋げて
頂ければと考えております。

一方、当財団は設立時より若手研究者
の育成を重視しております。今年も「わ
かば研究助成事業」を設け、厳正なる審
査の結果、基礎と臨床医学の研究を行っ
ている助教と博士課程の院生への助成が
決まりました。

令和三年度すべての助成選考を終了

助成申請の公募を四月三十日に開始し、
受理した申請五九件について選考し、採
択は計一九件、研究助成総額は九六五万
円でした。採択された研究課題は、別表
のとおりです。

令和三年度事業

1 研究助成事業

(1) がん研究助成指定寄附 計2件 200万円

(助成額単位：万円)

申請者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
立石 健祐	BRAF変異腫瘍に対する分子標的治療克服を目指したトランスレーション研究	横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 診療講師	100
加藤 真吾	がんゲノム医療を補完する臓器横断的がん患者モデルパネルの開発	横浜市立大学附属病院 がんゲノム診断科・講師	100

(2) 新型コロナウイルス感染症診療支援事業 計2件 100万円

(助成額単位：万円)

申請者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
古谷 良輔	地域障がい者支援施設や障がい者グループホームに向けた新型コロナウイルス感染症に関する出張勉強会	独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 副院長・救命救急センター長	50
奈良 典子	COVID-19患者における血小板機能解析	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脳神経内科 副院長	50

(3) わかば研究助成 計6件 300万円

(助成額単位：万円)

申請者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
半石早矢佳	ナノルシフェラーゼ二分子技術に応用した肺炎球菌の細胞内ダイナミクスモニタリング法の開発	横浜市立大学大学院 医学研究科 微生物学教室 博士後期課程4年	50
黒羽 一誠	精子幹細胞の運命決定に関わるエピジェネティクス関連分子の翻訳制御機構	横浜市立大学 医学部 組織学助教	50
金口 翔	アンジオテンシン受容体機能調節因子によるAKI-to-CKDの新規治療戦略	横浜市立大学附属病院 腎臓・高血圧内科・助教	50
大場 敬義	ヒトiPS-関節オルガノイドを用いた新規変形性関節症モデルの開発	横浜市立大学 運動器病態学教室 室／臓器再生医学教室 博士課程4年	50
窪田 瞬	神経変性疾患の凝集体形成におけるSGTAの機能解析	横浜市立大学附属病院 脳神経内科・脳卒中科 指導診療医／横浜市立大学大学院医学研究科医科学専攻 博士課程4年（修了見込み）	50
三宅 茂太	脳室内にホルモン投与を追加するチール法変法による頭頸部解剖実習に適した固定法の開発 固定条件の検討による脳の硬度変化の検討	横浜市立脳卒中神経脊椎センター 脳神経外科／横浜市立大学大学院（専攻 脳神経外科）課程4年	50

(4) 医学・医療関連事業助成 計3件 55万円

(助成額単位：万円)

申請者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
佐藤 純人	ストーマ保有者において非透明ストーマ袋が主観的ウェルビーイングに及ぼす影響に関する研究	横浜市立大学 市民総合医療センター 消化器病センター外科 診療講師	30
西井 鉄平	COVID-19流行下において集合型チーム医療研修をオンライン化する取組み	横浜市立大学医学部 医療情報学講師(兼) 横浜市立大学附属病院 医療情報部部長、同 附属市民総合医療センター 医療・診療情報部部長	5
土肥 真奈	多方面のアプローチを必要とするエンド・オブ・ライフ (EOL) 期を見据えた高齢心不全患者への専門・認定看護師による看護の実践	横浜市立大学・准教授 (看護学科老年看護学領域)	20

(5) 医療技術研究助成 計3件 60万円

(助成額単位：万円)

申請者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
眞鍋 千恵	全身麻酔による概日リズムのずれに対するメラトニン受容体作動薬ラメルテオンの同調効果の検討	横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻周麻酔期看護学分野博士前期課程1年	20
田中 瞳	高齢者療養型施設の誤嚥防止の取り組みと介護職が感じる困難についての実態調査	横浜市立大学大学院医学研究科・客員研究員	20
村上 直樹	SARS-CoV-2感染症のスクリーニングにおけるSARS-CoV-2抗原試薬の有用性の評価	横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床検査部	20

(6) 推進研究助成 計2件 200万円
令和元年度開始(最終年度) 助成 計2件

(助成額単位：万円)

申請者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
高橋 秀尚	新規の転写伸長制御因子Med26の機能解明	横浜市立大学大学院医学研究科分子生物学分野 教授	100
藩 龍馬	自己免疫疾患における形質細胞様樹状細胞の機能疲弊についての解析	横浜市立大学大学院医学研究科免疫学教室 助教	100

2 横浜市大教育等助成事業
先導的教育事業助成 計1件 50万円

(助成額単位：万円)

申請者氏名	研究課題	所属機関等	助成額
飯田 洋	国際認証(分野別認証評価)への対応、Institutional Research (IR) システム構築のための調査と準備	横浜市立大学医学部 医学教育学 講師	50

賛助会員のご加入、皆様のご寄付に
心から感謝申し上げます

財団賛助会員の会費は研究助成資金の主な柱となっております。俱進会の先生方をはじめご加入いただいている多くの方々から御礼申し上げます。

ご芳名を財団の年報とホームページに掲載させて頂き、長期にわたり敬意を表する形とさせて頂きます。令和二年度のご加入とご寄附の状況は、次のとおりです。

会員数(会費納入) 三四二名
寄附総額 約六二三万円

さて、皆様のご支援により当財団の助成総額はこれまで約六億円に達しました。助成を受けた後、さらに発展され、現在、学術分野で指導的立場で活躍しておられる先生方が多数おられます。

また、最近「TJH E世界大学ランキング二〇二二」が発表されました。横浜市立大学は質の高い論文数が多いと評価されて日本国内では総合八位という喜ばしい結果でした。

当財団の医学・医療分野に特化した助成事業がこのような成果に少しでも繋がるようであれば素晴らしいと考えています。

コロナ禍にお願いばかりで誠に恐縮ですが、俱進会の先生方にはどうか引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



一般財団法人

横浜総合医学振興財団

賛助会員加入・ご寄付の申し込みは

電話：045-788-8635

メール：yokohama-zaidan@yfams.or.jp

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

